

第一学院高 岡山キャンパス生徒



トマトジュースの販売促進に協力している生徒たち

なかりをイメージしたリボンを描き、瓶を包む気泡緩衝材はインスタ映えを狙って気泡部分をハート形にした。

トマトジュースは、さまざまな料理にアレンジできるためレシピ本も作って購入者に渡す。スープのレシピを考案した2年久保篤史さん(17)は「以前の販売会場で試食を勧めたところ、とても好評で自信になり、調理の専

加工品の販促に協力

通信制の第一学院高で必要な力を身に付け岡山キャンパス(岡)の授業の一環。生徒約20人が、石原果樹園(東区西隆寺)が製造する愛宕梨のドライフルー販売促進に協力している(30袋、600円)。

商品に貼るシールと、井上龍一農園(鏡野町)が手掛けるトマトジュース(180円)の場やインターネットで、450円)の販売売り出す。産地の活性化を手伝っている。

化につなげるほか、利益は西日本豪雨の被災地支援にも充てた。

ビジネスマナーや課題解決能力など、社会シールに人と人とのつ

商品シール考案

野菜 果物 県産

門学校に行く目標ができた」と話す。

生徒たちはまず農家から商品を買って、利益を上乗せして販売。利益は全額、発達途上国の子どもたちに届ける絵本購入などに充てており、昨年末には15万8千円を県を通じて豪雨の被災地に寄付した。

杉村晴子副キャンパス長(43)は「会話に消極的だった子が進んで人前で話すなど、成長を実感している」と話している。

(中村啄也)